

平成30年7月豪雨災害の現状について (第49報)

1 人的・物的被害の状況 (9/17 10:00現在)

(1) 人的被害

区分	人数	備考	
死亡	28名	直接死	25名 天応12名, 吉浦3名, 安浦4名, 中央2名, 阿賀1名, 音戸2名, 蒲刈1名
		関連死	3名
負傷	22名	重傷5名, 軽傷17名	

※ 負傷者数は、豪雨災害の直接起因による人数 (H30.7.6~8)

(2) 家屋の被害状況 (9/16 18:00現在)

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	床下浸水	計
324	133	765	1,259	741	3,222

※ り災証明に係る現地調査完了件数による。

(3) 公共施設等の被害状況 (H31.2.28現在)

区分	被害施設数・箇所数等	主な被害施設等
① 公共施設 (学校, 福祉, 環境衛生, 産業振興施設等)	72施設	天応市民センター, 天応中学校, 安浦中央保育所, 呉市斎場, グリーンピアせとうち
② インフラ	941か所	
公園	12か所	二級峡公園, 串山公園
土木施設 (道路・河川等)	342か所	市道内海市原線, 真光寺橋
農林施設 (農道・林道等)	251か所	農道豊浜大橋線, 林道郷原野呂山線
港湾・漁港施設	24か所	川原石第1物揚場, 仁方川尻新開護岸
上下水道施設	312か所	二級水源地, 柳迫第一ポンプ所
③ 普通財産	21施設	山林 (苗代町, 豊浜町, 川尻町)

2 避難勧告等の発令基準の特例運用

地区・町名		土砂災害	洪水災害
安浦	安浦町大字中畑	○	○
	安浦町中央北1丁目, 安浦町中央1~5丁目, 安浦町内海北1~4丁目, 安浦町内海南1丁目	—	○

※ 上記の特例運用とは別に、平成30年7月豪雨により土砂災害が発生した地域については、避難勧告等の避難情報を通常より早めに発令する運用を行っています。避難勧告等を早めに発令する可能性がある地域については、呉市ホームページでご確認いただけます。

3 仮設住宅等の状況 (9/17 10:00現在)

住宅の種類	入居世帯数	備考
公営住宅等	23世帯	市営16, 県営7
応急仮設住宅	借上げ型	88世帯 民間借上住宅
	建設型	44世帯 天応32, 安浦12
合計	155世帯	

※ 応急仮設住宅等における提供期限が近づいている方については、個々の事情に応じ、提供期間の更新、公営住宅の優先入居などの対応を行っています。提供期限を超えた方については、関係機関と連携し、本人の意向を踏まえて対応しています。

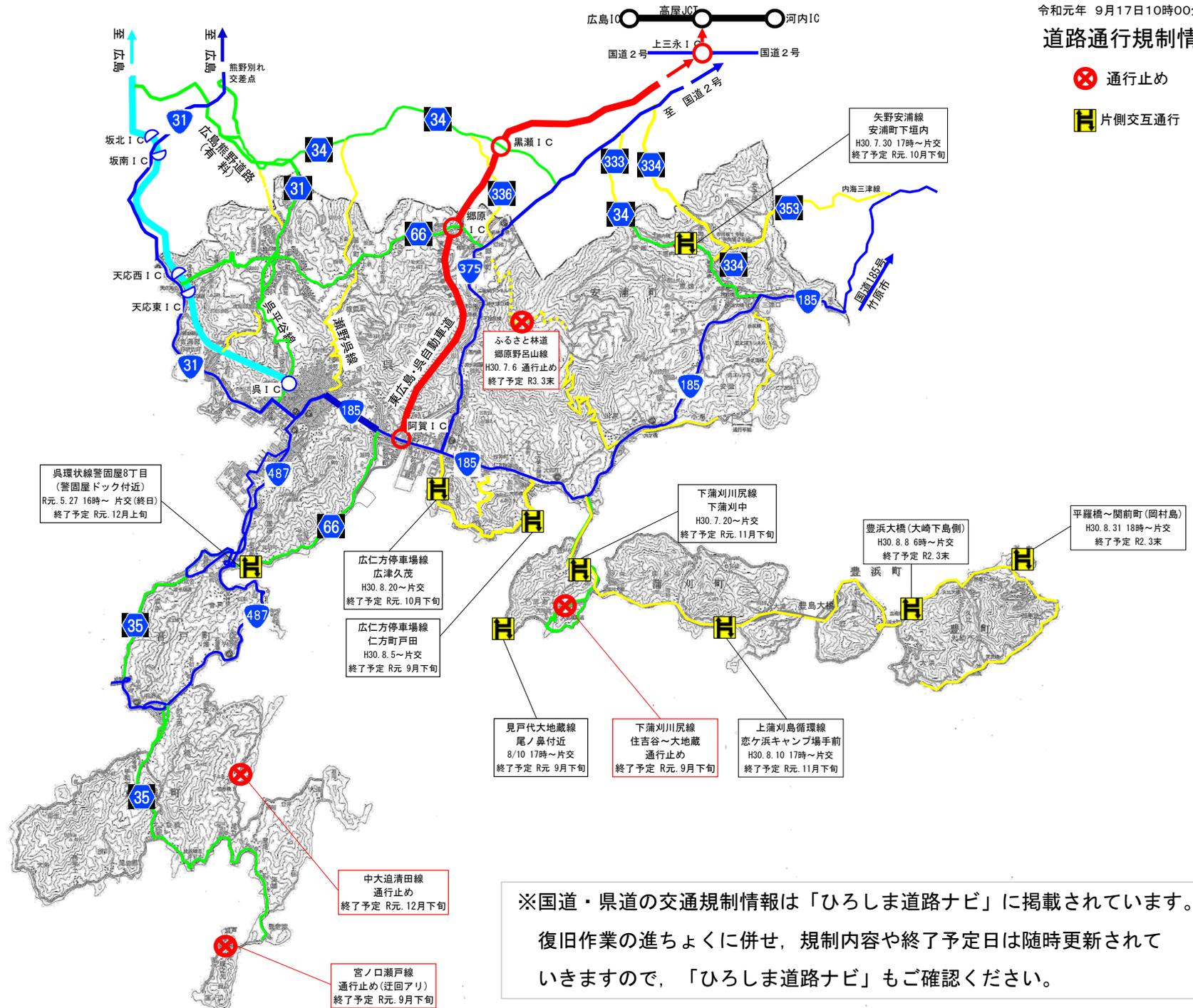
4 規制中の道路 (9/17 10:00現在) 【別紙参照】

※ 9月9日10時時点からの状況の変化なし

道路通行規制情報

⊗ 通行止め

H 片側交互通行



令和元年9月18日
福祉保健部 介護保険課 (市民防災プロジェクト)

災害対策机上訓練～災害時における有効な多職種協働のシステムの構築に向けて～ の開催について

平成30年7月豪雨災害においては、行政、福祉・介護関係者、医療関係者など多職種と模索しながら協働してさまざまな災害支援活動を行いました。

昨年の経験を糧に、今後、呉市での災害発生時に、多職種が協働で住民に適切な避難支援ができるよう、「多職種協働システム」の構築を図ることを目的に、災害対策机上訓練を開催します。

1 開催日時

令和元年9月22日（日）9：30～12：30

2 場 所

シシンヨーオークアリーナ 1階ミーティングルーム

3 主 催

広島県介護支援専門員協会呉ブロック

4 共 催

呉市、呉市介護支援専門員連絡協議会

5 参 加 者 85名

広島県内の主任介護支援専門員、介護支援専門員 48名

地域包括支援センター職員 15名

介護保険・障害福祉事業関係者 2名

医療関係者 4名

呉市社会福祉協議会 2名

呉市職員 14名

(介護保険課、福祉保健課、障害福祉課、健康増進課、危機管理課)

6 内 容

「災害対策机上訓練～災害時における有効な多職種協働のシステムの構築に向けて～」

・講師 広島県介護支援専門員協会 常務理事 越部 恵美 氏

・ファシリテーター 広島県介護支援専門員協会呉ブロック

副ブロック長 宮下 勝則 氏

副ブロック長 渡邊 悦雄 氏

令和元年9月18日

環境部 環境政策課
(廃棄物・土砂処理プロジェクト)

災害廃棄物等の処理状況について

1 県内市町の処理状況

広島県は、県内市町の平成30年7月豪雨災害により発生した災害廃棄物発生推計量及び進捗状況（令和元年7月末現在）をとりまとめ、令和元年9月17日に県議会生活福祉保健委員会へ別紙のとおり報告し、公表しました。

※処理状況（令和元年7月末現在）の概要

区分	発生推計量 (A)	処理量 (B)	進捗率 (B/A)
広島県全体	129.5 万トン	84.8 万トン	66%
呉市	52.7 万トン	20.4 万トン	39%

2 他市町と比較して進捗率が低い理由

- (1) 呉市の災害廃棄物処理量（20.4万トン）は、広島市（25.3万トン）に次いで多いが、災害廃棄物の発生量が多い（広島市+坂町+東広島市の発生量（54万トン）とほぼ同量。県内発生量の約40%）ため、進捗率が上がっていない。
- (2) 被災現場から土砂・がれきを早期に搬出するため、現場での分別作業を行わず、阿賀マリノに一旦集積した上で処理することとした。
- (3) 土砂混じりがれきのふるい作業や混合廃棄物の選別作業を先行して重点的に行っており、8月以降に本格的な搬出体制に移行している。

3 今後の見込み

災害廃棄物の処理は、当初の予定どおり令和元年12月末の終了を目指して作業を進めており、今後、土砂・岩石の処理が本格化するため、進捗のペースは上がる予定です。

災害廃棄物の処理状況について

令和元年9月17日
循環型社会課

1 概要

- 平成30年7月豪雨災害により発生した災害廃棄物については、令和元年12月末までの処理完了を目標として、県と市町が連携して処理を進めているところであり、令和元年7月末現在における発生推計量、処理実績及び今後の処理見通しをとりまとめた。

2 災害廃棄物発生推計量の精査

- 災害廃棄物発生推計量を精査し、以下の通り増加した。

時期	推計量
平成31年2月（災害査定時）	118.9万t
令和元年7月	129.5万t (+10.6万t)

- 主な増減理由

- ・ 廃棄物混入土砂中の土砂量を推計量へ算入（+約22万t）
- ・ 7月末までの処理実績を反映（-約10万t）

3 処理実績及び今後の処理見通し（7月末現在。市町毎の処理実績は別紙参照）

(1) 二次仮置場の解消

- 20箇所中、6箇所が解消。12月末にすべて解消する見通し。 ※ 一次仮置場はH30.12末に解消済（生活環境保全上支障のあるもの）

(2) 廃棄物の処理量

- 129.5万t中、84.8万tの処理が完了（7月末進捗率66%）。12月末に概ね100%となる見通し。

処理状況 (7月末)	市町数	市町名（発生推計量順）	二次仮置場 解消見込 (12月末)	処理進捗 見込 (12月末)
100% (処理完了)	6	東広島市、府中町、福山市、竹原市、世羅町、安芸高田市	—	—
90%以上 (概ね完了)	2	坂町、海田町	解消	100%
70%以上	5	広島市、三原市、尾道市、江田島市、府中市	解消	100%
40%以下	4	呉市（7月末進捗率：39%） 【今後の見通し】発生量が多く、選別過程で生じた岩石の処理や、所有者の意向で一部の建物解体に遅れが見られるが、設備増強等により、12月末までに処理完了の予定。	解消	100%
		三次市（7月末進捗率：29%） 【今後の見通し】大規模建築物の解体を営業を継続しながら進めており、利用者の都合で解体完了が令和2年2月となる一部の建築物を除き、12月末までに処理完了の予定。	解消 (残余の廃棄物は処理施設へ直接搬出)	約93%
		熊野町（7月末進捗率：24%） 【今後の見通し】残りの廃棄物混入土砂について、8月に処理を発注済み、10月末までに処理完了の予定。	解消	100%
		庄原市（7月末進捗率：39%） 【今後の見通し】残りの家屋解体について、8月に解体を発注済み、12月末までに処理完了の予定。	— (二次仮なし)	100%
県計66%	17		すべて解消	概ね100%

4 今後の対応

- 令和元年12月末の処理完了に向けて、市町の処理進捗状況を毎月確認するとともに、処理上の課題を把握し、市町と連携しながら迅速に対策を行う。
- 特に進捗率の低い市町に対しては、職員や専門家の派遣を集中的に行い、設備の増強や処理先の確保等の技術的な助言を継続的に実施する。

【参考1：ロードマップ】

7月末

	2018年度	2019年度	2020年度
災害廃棄物 処理実行計画	県基本方針 → 県実行計画の策定 → 県実行計画の実施 (節目ごとに進捗状況を公表)		
一次仮置場 (搬入出・撤去)	一次仮置場への搬入・搬出 → 一次仮置場の撤去		
二次仮置場 (集積, 選別, 破碎等)		二次仮置場での処理	処理完了 (令和元年12月末) 二次仮置場の撤去
市町支援		災害廃棄物処理支援 (専門家派遣・関係機関との広域的調整) 市町からの事務委託(坂町)	
処分 (埋立等)	公共関与処分場強化(受入施設) → 運用 公共関与処分場強化(海上搬入施設) → 運用		

【参考2：二次仮置場の状況】

○ 福山市 箕沖埋立地 (処理中)



箕沖埋立地 (処理完了)



○ 坂町 ベイサイドビーチ坂 (処理中)



ベイサイドビーチ坂 (処理完了)



平成 30 年 7 月豪雨における災害廃棄物処理の進捗状況
(令和元年 7 月末時点)

市町名	災害廃棄物推計量 (t)		処理量 (t)		処理率 (処理量計/ 災害廃棄物 推計量)		
	廃棄物 混入土砂 及び流木 (t)	廃家財等・ 建物解体 廃棄物 (t)	廃棄物 混入土砂 及び流木 (t)	廃家財等・ 建物解体 廃棄物 (t)			
呉市	526,800	494,600	32,200	204,040	188,170	15,880	39%
広島市	320,120	303,740	16,370	253,260	236,440	16,810	79%
坂町	156,930	122,130	34,800	146,860	117,030	29,830	94%
三原市	74,030	50,220	23,810	57,840	44,000	13,840	78%
東広島市	63,040	54,770	8,270	63,040	54,770	8,270	100%
尾道市	44,390	35,340	9,050	32,360	28,530	3,840	73%
江田島市	30,000	25,400	4,600	22,680	21,660	1,020	76%
府中町	16,000	15,430	570	16,000	15,430	570	100%
福山市	15,260	10,580	4,680	15,260	10,580	4,680	100%
竹原市	14,410	10,250	4,160	14,410	10,250	4,160	100%
海田町	14,000	9,170	4,840	13,430	8,590	4,840	96%
三次市	6,350	110	6,230	1,820	110	1,700	29%
府中市	5,570	2,730	2,850	4,320	2,730	1,600	78%
熊野町	4,690	2,980	1,710	1,120	0	1,120	24%
庄原市	2,090	240	1,860	810	240	570	39%
世羅町	840	0	840	840	0	840	100%
安芸高田市	280	140	150	280	140	150	100%
県合計	1,294,800	1,137,810	156,980	848,370	738,650	109,720	66%

注) 端数処理により合計値が合わない場合がある。

令和元年9月18日

教育部 学校安全課
(子ども支援プロジェクト)

スクールカウンセラーの派遣による児童生徒の心のケア及び
教職員を対象とした「児童生徒の心のケア」に関する研修

1 スクールカウンセラーの派遣・研修（8月31日現在）

(1) 派遣した学校・避難所

小学校	中学校	避難所
10校	8校	3カ所

(2) 派遣日数・カウンセリング人数（のべ）

日数	カウンセリング人数		
	小学生	中学生	保護者
343日	380人	169人	97人

※ 緊急な状態の（急いで病院につなぐような）児童生徒はいない。

(3) 職員研修（のべ）

86回 【研修内容例】全体研修・個別の子どもに関わるケース会議

2 今後（9月1日以降）の派遣について

(1) 継続支援が必要な児童生徒及び学校数

小学校
6人
4校

(2) 派遣のペース及び学校数

年度末まで、県のスクールカウンセラーを月1回～2回のペースで派遣	4校
----------------------------------	----

※ ただし、緊急の場合は、呉市のスクールカウンセラーを派遣する予定

- スクールカウンセラーとは、臨床心理についての専門的な知識・経験を有する専門家であり、学校で児童生徒及び保護者からの相談を受けるとともに教育相談に係る教職員に対する助言・援助などを行っている。